

	写真	学校名	学部・学科	代表者名	学年	事業名	プランの概要
1		北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学科 知能ロボットシステム コース技術補佐員	佐々木 雅也		認知症対話 AI「コモモン」・ 認知症介護をアップデートし、誰もが安心して暮らせる社会を創る	介護業界で人手不足が叫ばれる中、認知症の方に対するコミュニケーションは大変難しく、これが原因での離職が課題となっています。認知症介護に携わる方々の精神的負担を軽減し、本当に必要とされるサービスの質を高められるよう、対話型 AI「コモモン」が強力にサポートします。まずは、BtoB での契約を行い、ハードウェアの販売・ソフトウェアの使用料で収益を得ます。*
2		北九州市立大学	国際環境工学部 エネルギー循環化学科	山手 健矢	2	光触媒で排水溝の悪臭改善 ブースカフェスが臭いのお悩み解決します！	有機物を分解する能力を持つ光触媒と殺菌力を持つ紫外線を組み合わせた製品を用いて水中の細菌やプランクトンの繁殖を抑制し、排水溝からの悪臭を改善します。製品を排水溝に設置することによって飲食店の厨房や洗浄室の悪臭が改善し従業員の労働環境が良くなり共に、臭い対策として薬品を排水溝に入れる必要がなくなるため下水道処理場での水処理の費用を削減できるようになります。
3		九州大学	芸術工学部 環境設計学科	岸川 明香里	3	子ども向け安価な家具の製造・販売 「子どもが自分の環境を自らデザインする」	私たちは、「子どもが自分の環境を自らデザインする」というコンセプトの下、従来よりも安価な、子どもの家具の開発・販売業を営む。方法としては、小学校低学年を対象としてネット上で部屋のインテリアをコーディネートして遊べるようなゲームを無料に提供し、オプションとして、実際に子どもが作った部屋をそのまま実現できる家具のセットをネット上で購入できるようにする。
4		九州大学	大学院 システム生命科学府 システム生命科学専攻 一貫性博士	竹内 啓人	2	脳科学を用いた集中度マネジメントの 提供	高校生、特に受験生に対し、脳科学を用いた集中度マネジメントのできるスタディスペースを提供する。本事業では、学習時における集中度変化を可視化し、各個人がより集中できる空間作りをサポートし、集中が続かず勉強が捗らないという課題を解決する。我々は、課題解決の対価として月2万円の利用料の収益を得る。
5		九州大学	工学部 電気情報工学科	成重 椋太	3	ワイヤレス給電式の体内植込み型医療機器の開発・販売	ペースメーカーなどの体内植込み型医療機器を利用している患者は、機器の電池に寿命があるために数年に一度、機器そのものの交換手術が必要であり精神及び身体の大きな負担となっている。そこで我々が開発し、医療施設に販売するのは体外から充電するというものであり、その交換手術を無くすことができる。それにより患者の心身の負担、手術費・入院費の負担、手術が原因の感染症に対する不安、国の医療財源の負担を大幅に減らすことができる。
6		九州大学	工学部 電気情報工学科	吉野 弘毅	4	次世代の生体認証を用いた利便性の高い 物理セキュリティシステムの提供	歩き方と容姿による次世代の生体認証である「歩容認証」を用いた、利便性かつ高度な物理セキュリティソフトウェアを、マンションや企業向けに提供する。我々の最終目標は、この技術を用いたシステムを社会に浸透させ、日本・世界の物理セキュリティレベルを引き上げることである。ソフトウェアの1年ごとの使用料によって収益を得る。
7		長崎国際大学	人間社会学部 国際観光学科	杉山 裕磨	4	PROPS 音楽情報共有サービス	自分が持っている音楽情報を発信したい人や音楽やアーティストについてもっと知りたい人がアーティストについての知識や、音楽の裏の情報を共有することができるサービスです。今まで特定の音楽の事について知りたくても情報を見つけられなかった人、や発信できる場を探していた人への居場所になります。このサービス自体のマネタイズモデルは基本広告モデルなのですが、将来的にローンチするサービスにおけるハブとなる大きな可能性を持ったサービスです。
8		福岡学院大学		田中 志穂		SEh シーン (SDGs + ESD + Hospitality) 飛び出そう世界へ！地球にもっと関心 をもとう！	SDGs を生徒、学生、世界の人々に楽しく認知してもらうための一連の活動と関連する製品開発を行います。カードゲーム化することで AIDA の法則が活かされ持続可能な学びを実現、このことで国際目標である SDGs の啓発促進を担っています。収益は、カード本体、セミナー、SEh 検定 (ファンリテーター養成) などから、e コマースにより得ます。